

別府市に建設工事の指名願を出した方（別府市内に本店がある業者のみ）は、2/1～28に別府市税の完納証明書をとって契約検査課へ提出して下さい。（技術職員に変更があれば朱書きした別途の届出要）



『跡取り娘・共育協会』という変った団体をご存じでしょうか？女性の事業承継者を支援する一般社団法人で「跡取り娘」でネット検索すると出てきます。中小企業の後継者不足は深刻で帝国データバンクの調査によると「後継者がいないか未定の企業は半数以上に上る」そうです。「代々続く老舗企業では子どもが娘だけの場合、これまで跡取りとして『娘婿』を迎えてきたケース多かった」が日本政策金融公庫の23

事業承継の
娘の悩みは
父と別姓

共育協会の
活動に拍手

年調査では0.1%しかない。少子化が進む中、男性側も一人息子で自分の姓を失いたくない事も多く『婿取り』自体が難しくなっている（1/11付毎日新聞）といいます。日本で『選択的夫婦別姓制度』が導入されない事が、結婚で改姓した娘が事業承継する際の支障にもなっている中で、設立して7年になる「共育協会」の活動に拍手を送りたいと思います。困難を乗り越える女性の勇気にも拍手です。商いは知恵と努力と人柄でするもの…とも言われていますからね。



2000年に始めた①公的介護保険と②成年後見制度。高齢化社会の「車の両輪」と位置づけられましたが①は負担増・給付カットに人材不足で崩壊寸前と危惧されていますが②も雲行きが怪しくなってきました。判断能力が不十分になった人に対して家裁が後見人を選任する仕組みで全国で25万人程に利用されています。報道によると中国地方で暮らしていた92才の男性が認知症を理由とした自治体による後見申し立てが家裁で認定された後に「人間性を無視して

誰のための
制度なの？
成年後見 人間性無視
家裁が取消

いる」と自ら取り消しを求めて家裁に申し立て、約10か月後に認められました。男性は「十分な説明もなく申し立てられた…」と自治体への不信感をにじませ「苦しかったのは周りの支援者らが自分の希望を聞いてくれなかったこと…行政の窓口で後見人が一緒にいなければ対応してもらえないことが多かったこと等だ」と言います（1/6付毎日新聞）。利害関係者にとって都合の良い仕組みになっていないか再度検証が必要です。



本年（2025年）1月より当事務所の終業時間を15分早めて夕方の5時15分までとさせて頂きました。職員の仕事と家庭の両立のため皆様のご理解を頂きたく、なにとぞご協力をよろしくお願い申し上げます。なお、お昼の休憩時間（正午～午後1時）は、電話を留守番音声応答にしております。😊

